

2020年

7月18日(土)ー9月13日(日)

開館時間 午前10時〜午後5時(入館は午後4時半まで)
休館日 月曜日(但し、8月10日(月・祝)は開館、翌11日(火)は休館)
観覧料 一般1,400円・高大生700円・小中生500円
※20名様以上の団体は一般1200円、高大生600円、小中生400円
※土曜日は高校生以下入館無料
主催 徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・読売新聞社
協力 名古屋市交通局

徳川美術館
THE TOKUGAWA ART MUSEUM
蓬左文庫
HOSA LIBRARY

特別展

Special Exhibition
Urushi Extraordinaire
Lacquered Masterpieces
from the Tokugawa Art Museum Collection

漆

徳川美術館珠玉の名品



企画展

鬼・妖怪・化け物…
怪々奇々

Thematic Exhibition
Ghosts, Ghouls, and Goblins
Strange and Fantastical Figures in Japanese Art



上から
重要文化財 朱漆花鳥七宝髻文陀絵沈金大碗 琉球 十六〜十七世紀
牡丹菊文雄朱平食籠 明時代 十五世紀
秋草時絵桶 江戸時代 嘉永五年(1852)
百鬼夜行絵巻 模本(部分) 江戸時代 十八〜十九世紀
大江山絵巻(酒吞童子絵巻) 三巻の内 中巻(部分) 江戸時代 十七世紀
すべて徳川美術館蔵

特別展

漆

徳川美術館
珠玉の名品

Special Exhibition
Urushi Extraordinaire
Lacquered Masterpieces
from the Tokugawa Art Museum Collection

繊細で美麗な意匠

日本・中国・朝鮮半島・東南アジアからインドあたりにかけて産出される漆の樹液を塗布した器物は、防湿性・防腐性に優れ、しかも酸やアルカリにも強い耐久性があり、さらに美しい光沢をもっています。また接着力も強く、東洋では古代からさまざまな工芸品や建造物などに用いられてきました。世界的コレクションとして知られる徳川美術館の唐物漆器を中心に、器体に金や銀の粉を時き付けて繊細で美麗な意匠を凝らした時絵、さらに朝鮮・琉球などの諸作品を通じて、現在のわれわれの生活の中で使用する機会が少なくなっている漆工芸の美しさと魅力をたどりま。



楼閣人物図蝶細分銅彩食籠
明時代 十五・十六世紀



屈輪文犀皮食籠盆
南宋時代 十三世紀

秋の野時絵手箱(部分) 鎌倉時代 十三・十四世紀



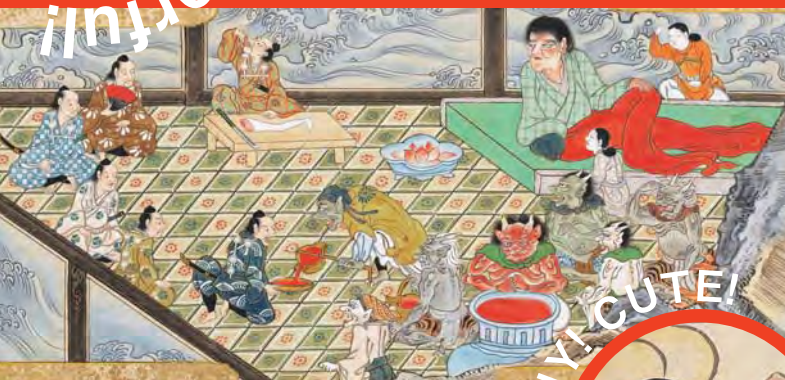
菊文白密陀彫文庫(部分) 明時代 十五世紀



花鳥図漆繪密陀彫箱綴折敷 琉球 十八世紀



武大夫物語絵巻 三巻の内 下巻(部分) 江戸時代 十九世紀



大江山絵巻(酒呑童子絵巻) 三巻の内 下巻(部分) 江戸時代 十七世紀



百鬼夜行絵巻 模本(部分) 江戸時代 十八～十九世紀

世にも奇妙で愉快な世界

死後の世界、寝静まった後の夜の時間、暗い闇の向こう側、普段立ち入らない場所や、他人の心のなか。見えない領域にひそむ恐怖は、一般に鬼や幽霊、妖怪といった存在に置き換えられてきました。かれらは、物語の中では驚かせ怖がらせ、絵画として描かれればユニークな姿で人々の目を惹きつけてきました。

本展では、古典文学に記された怪奇現象から、幽霊や鬼、妖怪の世界をご紹介します。



百物語戯隻六(部分) 江戸時代 十九世紀

企画展
Thematic Exhibition
Ghosts, Ghouls, and Goblins
Strange and Fantastical Figures in Japanese Art

怪々奇々

鬼・妖怪・化け物...

次回予告



八星メダイン文絨毯

秋季特別展

「殿さまが好んだヨーロッパ—異国へのまなざし—」
9月20日(日)～11月3日(火・祝)
御三家筆頭の尾張徳川家に伝来した日本と西欧を関連づける品々を一堂にご紹介します。国内でも珍しい作品を数多く含む、貴重なコレクションをお楽しみください。

夜に憩う
徳川園夕涼み
8月12日(水)～16日(日)

夜間開園
午後8時30分まで

徳川園催事



基幹バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
JR中央線「大曽根駅」下車南口より徒歩10分

徳川美術館 蓬左文庫
THE TOKUGAWA ART MUSEUM HOSOA LIBRARY

〒461-0023 名古屋市東区徳川町
徳川美術館 電話(052)935-6262 FAX(052)935-6261
名古屋市蓬左文庫 電話(052)935-2173 FAX(052)935-2174

